

五泉進路だより 虹の架け橋



進路だより 第8号

平成28年12月22日発行

県立五泉特別支援学校

進路指導部

関係機関との連携について



早いもので、今日で2学期も終わりになります。4月からの学校生活、家庭生活の中で、様々なことがあったかと思いますが、お困りのことはありませんでしたか？学校在学中は、学校職員がかかわることができますが、学校を卒業したあとは、なかなかそうはいきません。生活で困ったことがあれば、自分で関係機関に相談をしにいくこともあるかと思います。

みなさんの住んでいる地域には、生活や仕事のことなどで、分からないことや困ったことに無料で相談にのってくれる機関があります。今回は、それらの機関を紹介します。

居住地役所の健康福祉課

- ・五泉市、阿賀町にそれぞれ窓口があります。福祉サービスや年金の手続きなどで利用します。

ハローワーク新津

- ・五泉市、阿賀町の就職に関する窓口です。企業への就労を目指す際、就職相談や求職登録などの手続きを行います。

五泉市障がい者基幹相談支援センター

- ・初めて相談をする人、担当相談員さんが決まっていない人などは、五泉市の障がいに関する相談窓口として利用できます。

障がい者就業・生活支援センターらいふあっぷ

- ・学校卒業後、仕事や生活の面でサポートをしてくれます。企業へ就職する人は、高等部卒業前に、利用登録をします。

各相談支援事業所

- ・福祉サービスを利用している人は、担当相談員さんがついています。担当相談員さんのいる相談支援事業所を利用します。

いすみの里、あさひの家、え～る
ふなおか、縁 など

各機関の利用について

在学中は、学校を通して利用の手続きを行います。学校卒業後、必要に応じて、個人で利用する機会があるかと思います。各機関について、ぜひ知っておいてください。

これからの生活を安心して過ごすために

高等部3年生は、学校へ登校するのは残りおよそ2か月半です。4月からは、「社会人」として様々なところへ旅立っていきます。当然ですが、そこにはもう学校の先生はいません。今まで先生に手伝ってもらっていたことが、同じようにできなくなるかもしれません。どこに行っても安心して過ごすことができるようになるためには、自分一人で過ごす時間をもてるようになることです。そのためには、自分の好きなことをたくさん見つけましょう。本を読んだり、体を動かしたりするのもよいと思います。

どうしても困ったときは、近くにいる人に自分から助けを求めることができるようになるとういことです。一人一人目指すものは違います。それぞれの目標に合った課題を設定し、取り組んでいきましょう。



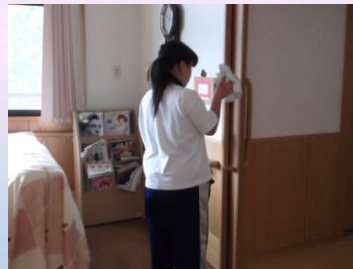
企業への就労を目指すために

教務主任 廣川 豊士

「会社には自分の車で通勤したいです」。ある高等部生徒のつぶやきです。将来の希望にあふれる生徒の声がたくさん聞けることは、社会参加に向けて良い力を積み上げている証拠です。一方、「うちの子は企業就労させたいです」「いい企業はありませんか?」。これは懇談等でよく聞かれる保護者の願いです。親として子どもの自立を考えたとき、これも当然の願いです。

ところで企業就労を実現するためには、何が一番大切なことでしょうか。働く知識や技術が何よりも大事でしょうか。それとも報告・連絡がきちんとできることでしょうか。

ある企業主が、生徒採用の動機として「仕事はできないが、ウチで働きたいという強い気持ちを感じた。これからウチで働く力をつけてやる」とお話してくれたことがあります。企業就労を実現するには、**企業に人材としての「可能性」を感じさせること**がとても大切なのです。職場実習は、こうした可能性を感じさせてこそ「就職活動」の意味があります。



企業で働く卒業生

一般雇用・障がい者雇用の区別なく、**「企業で働く」とは、「企業に対して責任を果たす」**ことでもあります。このため学校だけでは教えられないことがたくさんあります。

日頃社会で責任と向き合う保護者の皆様は、こうした意味では企業で働く手本です。**働くことの「良さ」「厳しさ」「大切さ」を含め、お子様に「働くこと」にかかわる様々な話を聞かせてください。そして、より良く「働き続ける」ことができるような準備を、学校と話し合い、協力しながら進めていただきたいと思います。**

高等部 1、2 年生は、3 学期に来年度の職場実習先を検討する個人面談があります。個人面談では、お子様ご本人も同席していただき、「働くこと」についての確認をし、お子様のご希望をふまえての実習先を決めていきたいと考えています。

ご不明な点は、いつでもお問い合わせください。



県立五泉特別支援学校

TEL 0250-43-4370

FAX 0250-43-1980

担当 進路指導部 神田 雄作

